

大学体育スポーツ高度化共同専攻のカリキュラムポリシー

実践的教育能力と実践的研究能力の養成を目的として、遠隔学習システムを利用しながら、筑波大学と鹿屋体育大学の双方の教育・研究資源を活用できるよう、下記のような教育課程を編成する。

●教育課程の編成方針

教育課程は、4つの科目群「実践的教育能力育成科目」「実践的研究能力育成科目」「高度指導者教養育成科目」「博士論文研究能力育成科目」より構成する。

- ・「実践的教育能力育成科目」: 大学体育や大学スポーツを先導する確かな専門的知識と実技教育能力を身につける。
- ・「実践的研究能力育成科目」: 大学体育や大学スポーツ現場の実践知を探求し、その研究成果を教育へと循環させることができる実践的研究能力を身につける。
- ・「高度指導者教養育成科目」: 大学体育や大学スポーツを先導する指導者として必要な教養を身につける。
- ・「博士論文研究能力育成科目」: 実践的研究論文や博士論文研究計画書の作成力やプレゼンテーション力、高度な大学体育スポーツ指導者として求められる実践的教育力を身につける。

●学修の方法・プロセス

- ・主に1・2年次において実践的教育能力、実践的研究能力、高度指導者教養とともに、博士論文課題演習を履修する。
- ・2年次後期に、博士論文研究能力の到達度審査として実施される **Qualifying Examination** に合格した者が博士論文の執筆に着手する。
- ・3年目に博士論文を作成し、審査に合格した者は博士の学位を取得する。

●学修成果の評価

- ・博士論文課題演習Ⅱ: 2年次後期に、博士論文研究能力の到達度審査である **Qualifying Examination** を実施し、実践的研究能力及び実践的教育能力を審査する。
- ・博士論文: 3年次後期に博士論文予備審査及び博士論文審査を実施する。